

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 12 日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 〒289-1733

住 所 千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1

氏 名 古谷建設株式会社

代表取締役 古谷 秀一

電話番号 0479-82-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	古谷建設株式会社
事業場の所在地	〒289-1733 千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1（現場：山武郡横芝光町）
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 108 億円
③ 従業員数	95 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	※ 別紙1のとおり

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

※ 別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	※別紙3(Ⅰ)のとおり
	排出量	
	(これまでに実施した取組) ・発生廃棄物の分別を徹底し、再利用率の向上を実施する ・発注者との協議を含め、場内再利用の提案・検討を行う	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	※別紙3(Ⅰ)のとおり
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) ・現在実施している取組を強化し、再利用率のアップを図る ・資材メーカー、業者に対し、梱包材の抑制協力を求める	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・少量の発生廃棄物は、混合廃棄物として処理している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・少量の発生物でも細分別を実施し、再利用・リサイクル率の向上を図る ・分別品目、分別方法の社内統一化を図り、再利用、リサイクル率の更なる向上を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

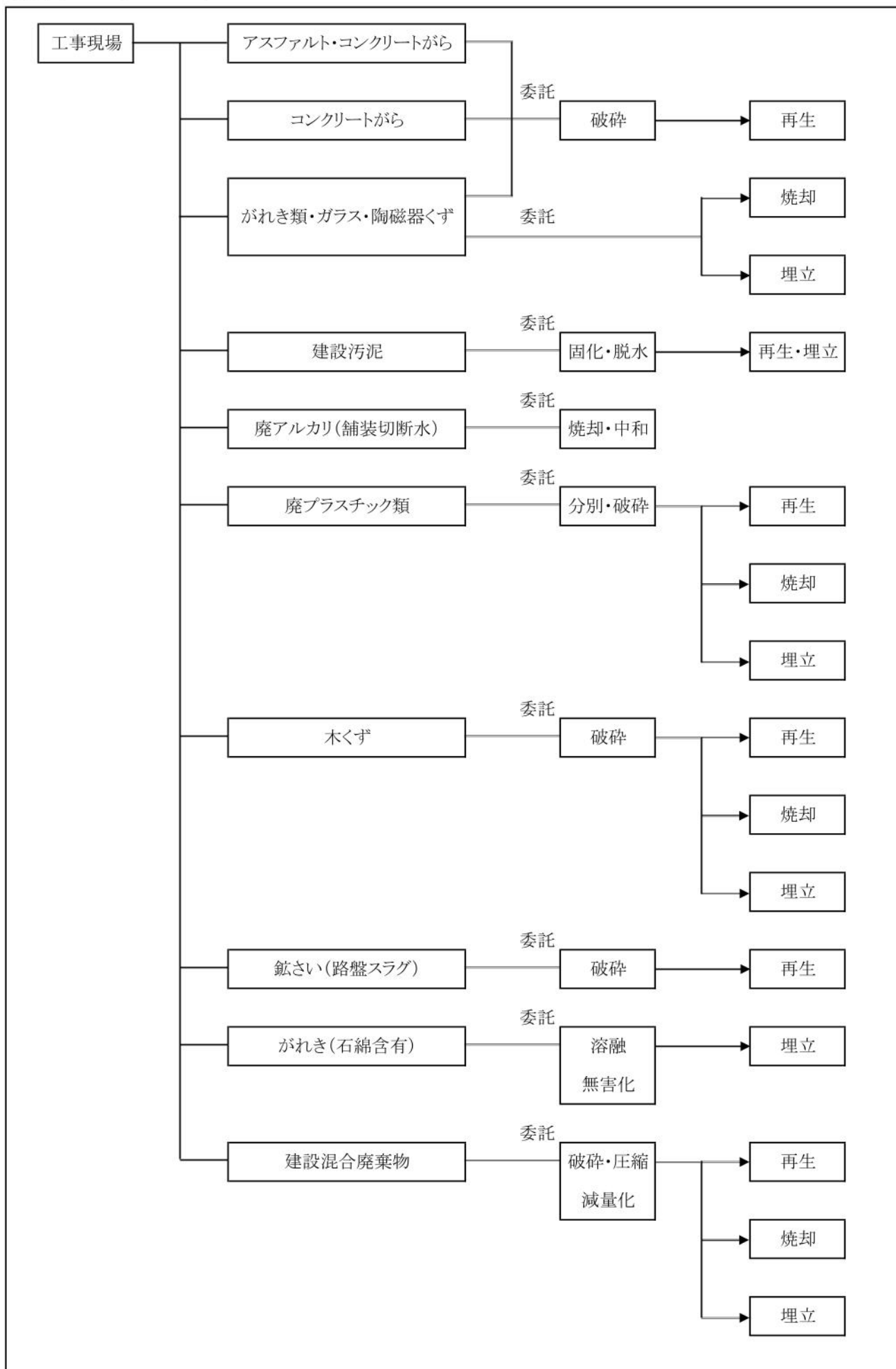
①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	※別紙3(Ⅱ)のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組) ・リサイクルに重点を置く処理業者へ委託する		

②計画	【目標】	※別紙3(Ⅱ)のとおり
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	(今後実施する予定の取組) ・現在実施の取組を継続し、リサイクル率のアップに努める。 ・地域性を考慮した上で、優良認定業者を前年度以上に幅広く選考し、委託する。 ・広域認定メーカーリサイクルを推奨する。(特に石膏ボード) ・焼却施設を有する熱回収業者を開拓し、木くず、紙くず等の可燃物の処理委託を強化する。	
※事務処理欄		

備考

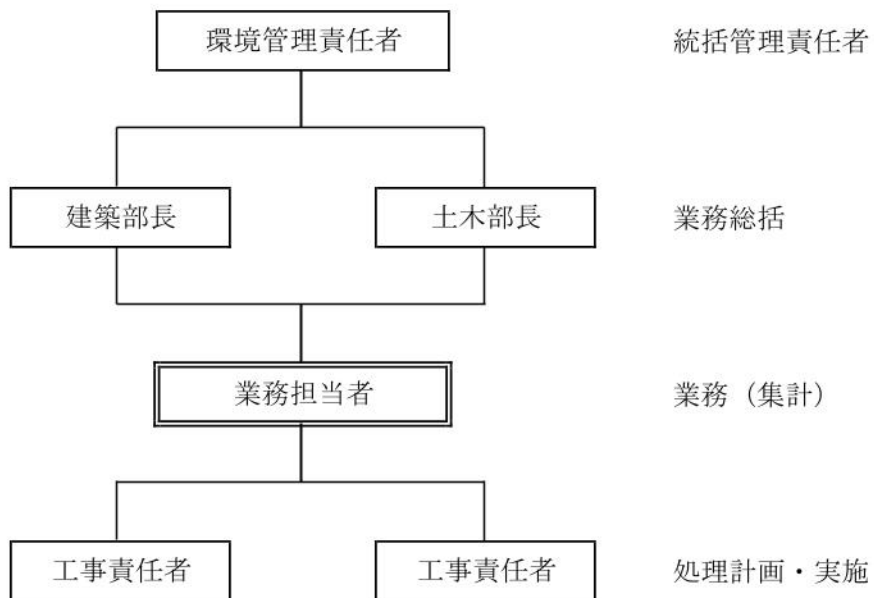
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(I)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
① 現 状	【前年度（令和4年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類 (石綿含有)	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)
	排出量	80.1 t	15.4 t	0.6 t	35.7 t	108.1 t	156.2 t	4,827.4 t	4,082.2 t	1,164.7 t	0.9 t	164.0 t	160.7 t	13.5 t	3.0 t	1.1 t
② 計 画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類 (石綿含有)	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)
	排出量	77.5 t	14.5 t	0.5 t	34.5 t	104.5 t	151.5 t	4,682.5 t	4,082.0 t	1,129.5 t	0.5 t	159.0 t	155.5 t	13.0 t	2.5 t	1.0 t

(II)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
① 現 状	【前年度（令和4年）実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類 (石綿含有)	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)
	全処理委託料	80.1 t	15.4 t	0.6 t	35.7 t	108.1 t	156.2 t	4,827.4 t	4,208.2 t	1,164.7 t	0.9 t	164.0 t	160.7 t	13.5 t	3.0 t	1.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t	15.4 t	- t	34.6 t	39.2 t	156.2 t	4.0 t	- t	49.1 t	0.9 t	164.0 t	160.7 t	13.5 t	- t	1.1 t
	再生利用者への処理委託量	80.1 t	15.4 t	0.6 t	6.0 t	108.1 t	156.2 t	1,975.7 t	3,998.6 t	1,164.7 t	- t	164.0 t	107.4 t	13.5 t	3.0 t	1.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	35.4 t	108.1 t	156.2 t	21.1 t	- t	49.1 t	0.9 t	164.0 t	160.7 t	13.5 t	- t	1.1 t	
② 計 画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	廃プラスチック類 (石綿含有)	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)
	全処理委託料	77.5 t	14.5 t	0.5 t	34.5 t	104.5 t	151.5 t	4,682.5 t	4,082.0 t	1,129.5 t	0.5 t	159.0 t	155.5 t	13.0 t	2.5 t	1.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10.0 t	14.5 t	0.5 t	34.5 t	45.0 t	151.5 t	10.0 t	10.0 t	50.0 t	0.5 t	159.0 t	155.5 t	13.0 t	2.0 t	1.0 t
	再生利用者への処理委託量	77.5 t	14.5 t	0.5 t	34.5 t	104.5 t	151.5 t	1,910.0 t	3,900.0 t	1,129.5 t	- t	159.0 t	155.5 t	13.0 t	2.5 t	1.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	34.5 t	104.5 t	151.5 t	20.0 t	10.0 t	50.0 t	0.5 t	159.0 t	155.5 t	13.0 t	- t	1.0 t	